

事業の概要

【実施背景】

- 中学校における出前授業の実績が少ない中、選挙管理委員会から、実際の選挙と同じ材質の投票用紙や投票管理者及び投票立会人を配置した生徒会役員選挙を学校に提案することで、中学校における主権者教育の普及を図る。

【事業内容】

- 市内の中学校では毎年生徒会役員選挙が行われており、これまでも投票箱等の投票機器材の貸出しを行っていたが、それらに加えて、実物と同じ素材の投票用紙の作成、投票所入場券の配布、投票管理者及び投票立会人の設置（選挙管理委員会委員や明るい選挙推進員が担当）を行い、生徒に本格的な選挙の雰囲気伝える。また、投票終了後には、投票管理者及び投票立会人に従事した選挙管理委員会委員等から生徒に対して、数年後に迎える実際の国政選挙・地方選挙での投票及び政治参加に関するメッセージを伝える出前授業を実施した。

【事業実績】

事業費 77千円



事業の効果、今後の展開など

- 本格的な投票を経験できる提案をすることで、市内の全ての中学校から依頼があり、生徒会役員選挙にあわせて出前授業を実施することができた。また、事業を実施する際には、教育委員会への協力依頼も行った上で各中学校への募集案内をしており、三者の協力の下で事業を実施することにより、良好な連携体制を築くことができた。